

令和4年度 日本大学危機管理学部 個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 教授

氏名： 木下 誠也

<p>研究課題名</p>	<p>異常気象により頻発する水害・土砂災害対策の現状と課題に関する研究</p>
<p>研究目的及び 研究概要</p>	<p>(1) 研究目的 異常気象により近年頻発している水害・土砂災害への対策の制度面の現状と課題を検討するとともに、大災害に対する行政機関の対応の改善策を研究する。</p> <p>(2) 研究計画・方法</p> <p>① 近年の主要な水害・土砂災害の発生事例における災害対応の現状と課題に関する以下の調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概要調査 近年発生した水害・土砂災害について、災害対応の現状と課題について文献資料等を調査</li> <li>・現地調査 主要な水害・土砂災害の事例について、発生前と発生後の現地の状況と、行政機関の対応状況と課題について、8月頃に和歌山県にて現地聞き取り調査や打合せ</li> </ul> <p>② 災害発生時の行政機関の対応の状況と課題について以下の調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政対応実態調査 現在行政機関で採用されている水害・土砂災害の予防・対策の実態を調査</li> </ul>
<p>研究実績の概要</p> <p>研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等</p>	<p>1. 研究の進捗状況</p> <p>① 主要な水害・土砂災害の発生事例における災害対応の現状と課題に関する調査</p> <p>平成30年7月豪雨、令和元年台風19号、令和2年7月豪雨を含む近年の主要な水害・土砂災害発生事例について災害対応の現状と課題について文献資料等を調査したほか、和歌山県にて現地聞き取り調査を行った。</p> <p>② 災害発生時の行政機関の対応の状況と課題に関する調査</p> <p>水害・土砂災害の予防・対策の実態を調査するため、利根川水系や多摩川における治水対策の現状と効果について調査を行い、今後の対策について検討を行った。</p> <p>2. 得られた成果</p> <p>得られた成果は、自然災害論、災害と法、地域防災論、ライフライン防護等の講義や基礎演習、危機管理特殊研究において活用したほか、防災士資格取得のための講習会等の講演に反映した。</p> <p>3. 今後の課題・研究実績等</p> <p>今後さらに研究を深めるとともに、大学の講義だけでなく、外部の各種委員会や講演等にも成果を生かしていく。</p>